



2月10日、甲府にたくさんの雪が降りました。休み時間には、大勢の子供たちが校庭に飛び出し、久しぶりの雪遊びを楽しんでいました。校庭の隅っこには、かわいい雪うさぎが登場しました。

子供たちが大喜びする一方で、保護者の皆様には大変なご迷惑をおかけしました。大雪のため市内小学校が午後の授業を打ち切り一斉下校することになりました。下校時刻の急な変更に対し、迅速に対応していただいたことに感謝申し上げます。



授業参観 学級懇談会

ご協力ありがとうございました

2月13日～17日の週に、各学級の授業参観が行われました。

本年度の4月に行う予定だった1回目の授業参観は、感染症対策のため中止になりました。9月に行う予定だった「だれでも参加できる授業参観」は、やはり感染症対策のため、広い空間の体育館と音楽室に教室をつくり、1学級ずつの授業参観を行いました。今回は、3年ぶりに各教室で授業参観を行うことができました。日頃より児童が互いに十分な距離がとれるよう教室一杯に広がって座席が配置されています。そのため保護者の皆様全員に教室に入っていくことができず、授業を前半と後半に分けて半数ずつでの参観となりました。（特別支援学級・4年生・6年生は別の形式でした。）

授業参観後には、各学級に分かれての学級懇談会が行われました。多くの保護者の皆様に参加していただきました。保護者の皆様と学級担任とが対面して交流するのは、本年度これが初めての機会でした。少しずつ、学校の教育活動の幅が広がっていることをとても嬉しく感じました。



3年生クラブ見学

4年生になるとクラブ活動が始まります。1月23日、3年生が来年度のクラブ活動を考えるために、クラブ見学を行いました。相川小学校には、右表にあるような8つのクラブ活動があります。3年生は各クラブ活動を見学して、来年度自分が入りたいクラブを考えることができました。

パソコン
科学
百人一首
手芸
図工・イラスト
屋外
屋内
オセロ・将棋

拡大代表委員会

2月7日に拡大代表委員会が行われました。児童会が1年間の活動を総括する会です。相川小学校では、SS活動に取り組んでいます。「サイレントサービス」、話をしないで静かに清掃に取り組む活動です。5月に行われた児童総会では、完全な無言清掃にする必要があるのか、という意見が出て、そのことについてみんなで話し合いました。話し合いの結果、完全な無言ではなく、「アリの声のSS活動」に取り組むことになりました。9月の代表委員会では、「アリの声のSS活動」が行われているかが問われる意見が出ました。守られていないから完全無言清掃にした方がいいのではないかという意見も出ました。そして、今回行われた拡大代表委員会で、この1年間の「アリの声のSS活動」を振り返り、来年度に向けて更にレベルアップしていくことが確認されました。これらは、児童による児童会活動での1年間の流れですが、そこには、大人の世界でも活用されている改善メソッドであるPDCAサイクルが発生していることに驚きを感じました。PDCAサイクルは、「計画をして（Plan）、やってみて（Do）、確認して（Check）、改善する（Act）」の繰り返しです。これが自然に発生したのは、児童会のメンバーが、形ばかりの話し合いをこなしてきたのではなく、しっかりと目的を理解し、結果を気にして、より良いものをめざしてきたからだと思います。5年生の児童は、この流れを継承し、より良い相川小学校を実現するでしょう。とても楽しみです。



ほっと！ネットセミナー



2月9日（木）、6年生児童を対象に、「ほっと！ネットセミナー」が行われました。山梨県教育庁生涯学習課が実施するネットやゲーム依存防止や生活習慣作りに関するセミナーです。甲府市内の小学校でも、オンラインゲーム上のトラブルが実生活に影響を与える事案が多数報告されています。本セミナーを通して、ゲーム依存、SNS上のトラブル、家庭でのルール作りについてわかりやすく学習することができました。今後は、高学年の児童に対して毎年、同様の学習会を計画し、児童が安全に楽しくネットを活用していけるよう指導していきたいと思います。



電子欠席届へのご協力に感謝いたします

2月より、これまで印刷物の受け渡しで行っていた欠席等の連絡を電子化し、ネットワークによる連絡に切り替えました。紙の欠席届を児童が学校に届ける形式だったので、児童の負担が重くなってしまったり、正確に連絡が伝わらなかったりすることがありました。大切な情報ですので正確に負担を少なくして連絡できるよう、スマートフォンやタブレットなどから連絡できるしくみに変更しました。電子欠席届に切り替えて1ヶ月が過ぎようとしていますが、保護者の皆様のご協力のおかげで、大きなトラブルもなく運用することができています。業務を精選し、一人一人の児童に向き合う時間を確保できるよう、ICTの活用積極的に取り組んで参ります。学校から配付する通知類の電子化も今後検討して参ります。保護者の皆様のご意見を取り入れながら、負担の少ない家庭と学校の連携をめざします。

